（大正九年十二月十四日 第三種郵便物認可）
新京日日新聞　夕刊　十月十五日（月）
發行所 新京永樂町四ノ一 新京日日新聞社 電話三二二五・三三〇〇
發行人 十河榮忠　編輯人 松本勇　印刷人 水越內之介

北鐵日ソ交涉ちかく一段落
意見は大体に一致
廣田外相正式交涉を勸告せん

【東京國通】五日の會見で北鐵讓渡は日ソ間に大体意見の一致を見たので一、二の點をモスクワ政府へ回訓して居たが、同回訓は一兩日前細目條件を携行せるクズネツオフ氏も十二日着京、直ちに大使館でユレニエフ大使、カズロフスキー氏等と協議を爲した、ユレニエフ大使は右の結果により十三日午後か遲くも十五日廣田外相を訪問し最後協議を爲す筈で、右會見で日ソ交涉は一段落となるので廣田外相はユレニエフ、大橋兩代表の正式交涉を勸告するものと觀られる

米貨再切下 ル大統領一笑に附す

【ワシントン國通】十一日民主黨上院議員バークレー氏がル大統領と會見後、弗貨再切下げの可能性を語り俄然インフレ人氣を再燃せしめたが、イリノイ州選出民主黨上院選擧委員長たるゼームスルイス氏はル大統領と會見種々懇談を重ねた結果、「余は政府當局が決して斯の如き方策を考慮して居ない事を社會に確言する」と發表した、ル大統領自身も再切下げ說を一笑に附した

怪しからぬデマに 大畑營口分隊長憤慨

【營口國通】曩に營口憲兵分隊に於て〇〇〇事件捜査に際し端なくも營口警務署兼大連稅關囑託土井伊兵衛にかゝる橫領收賄事件發覺したので、憲兵分隊では直ちに同人を起訴し、去る九月卅日營口領事裁判に於て懲役三個月執行猶豫一個年に處せられ其儘服役したが、右に關し最近に至り土井は憲兵分隊に不法監禁され脅迫的取調べを受けたとの理由で大畑營口憲兵分隊長を告訴したとの風說傳へられるに至つたが、右について大畑營口分隊長は斯る事は一切デマであると冒頭して大要左の如く語つた

土井に對して何等不法態度を採つた事は無いのみならず土井は吾々に大いに感謝し寛大の處分に喜んで服罪したものである、土井が控訴したとか僕を告訴したとか傳へる者があるが夫等は何か爲めにする者のデマであらう、土井は釋放後も度々隊を訪れ「私が滿洲に居ると時節柄色々監視されてうるさい方面も有るので當分內地に歸る事に致します」と自發的に內地に歸つたもので、現に我分隊員に對しては大連から離滿に臨み鄭重なる禮狀を寄來して來た位である、デマを飛ばす者はどう云ふ魂膽を有つて居るか知れないが頗る怪しからん事を宣傳するものだと思ふ、場合によつては僕は斷乎たる態度に出る決心をしてゐる

東京市電爭議完全に終局

【東京國通】九月一日以後の市電大爭議は調停後の藤沼總監協調會理事吉田氏の斡旋奏效し十三日午前十一時四十分市電東交當事者は解決條項の覺書に調印して終局を告げた

英產業視察團一行 撫順炭坑を視察

【奉天國通】英國產業視察團一行は十四日午後零時二十分試運轉のあじあ號にて着奉、午後一時五十五分奉天發撫順視察に赴き撫順炭坑オイルセール工場を視察し、午後八時歸奉した

鐘紡局面打開 濠洲羊毛を買付け
業界に一大センセイション

【東京國通】海外市場の硬塞により紡績業の前途は憂慮されて人絹、絹紡を加へての多角的經營化で打開を策し、鐘紡でも右兼營と羊毛工業に進出すべく成案を得て具体準備を進める一方濠洲よりの買付を開始したが羊毛工業界へ大刺戟を與へる事とならう

米波止場人夫の新賃銀

【サンフランシスコ十三日發國通】此夏の太平洋波止場人夫罷業は完全に勞働者の勝利に歸し賃銀九十五セント乃至一ドル四十セントとなり一週三十時間勤務と發表された

米勞働組合大會で 移民割當適用反對決議

【サンフランシスコ國通】米國勞働組合第五十五回大會は十一日の會議で移民法につき協議して日本移民その他の東洋人に割當制を適用する事に斷乎反對する旨の決議を滿場一致可決した

北鮮漁場ではソ聯側手も足も出ず

【東京國通】北鮮漁業場に於けるソヴイエート聯邦の進出は日本漁業に甚大な影響を與へ例へば漁區の如き昭和三年の彼我の割合廿％對八十％から今年は四十九％對五十一％となつてゐるが、その後ソ聯側の業績は規模の伸張と反比例し就中トロール漁業の如きは全く衰退の狀態に陷つた、即ちソ聯は昭和七年トロールトラストを結成し、廿二隻のトロール船を建造したが、その後の業績不振で今年に入つてはトロール船の一部を海洋調査漁業試驗場に向け、更に八月に入つては三隻をアコ會社に二隻を極東國營漁業トラストに配屬せしめ殘りのものは解体する筈、トロールトラストは事實上全く解消するに至つた、右の如くソ聯の極東漁業が不振に陷つたのは經營上に缺陷ある爲とされるが何れにしても昭和十一年の漁業條約改正期を控え日本漁業には有利な材料とみられてゐる

本年北滿視察團 合計三萬人に達す

【ハルビン國通】日本人團体の北滿視察團の殿として廿五日二百名が來哈するが、これで本年の北滿視察者は合計三萬人の多數に上る譯である

東北六縣へ 濡れ米拂下決定

【東京國通】過般風水害による大阪の濡れ米百萬俵は窮乏地方へ拂下げる事となつたが東北六縣へ十四萬俵拂下げる事に決定した

地方救濟計畫 內務地方局議で決定
監督を嚴に國庫援助を豐に

【東京國通】內務省地方局では風水害、凶作不況救濟に府縣市町村の實施事業は尨大な額となり、疲弊の極に在る地方財政に影響ある故取扱には愼重の考慮を要すとし十二日局議を開き協議したが、地方の救濟計畫には嚴重な監督と同時に國庫補助、低利融通、利子補給等國庫援助を出來るだけ厚くすることに決定した

我が經濟發展策に 一方的重工業を起せ（上）
經濟學博士 高木友三郎氏談

時代に依りて個人でも國家でも何も彼もバランスを得つつ發展すべき時と、ただ

一方的 に力を集中して突進すべき時とがある、現代の日本は、否あらゆる世界の非常時的今日では、何處の國でも先づ力を一方的に注いでそこから切り開く事を考へねばならぬ、早い話が日本の現財界にしても、インフレ景氣はいたづらに重工業のみに集つて農村や中小階級者は一向その恩惠に浴しないとの非難がある、そして

平時に ありて斯樣に不均衡な一方的發達の經濟狀態は許さるべきでない、だが現在のやうな非常時には寧ろあらゆる力を一方的に注ぐ方が日本の國力防禦の點から見ても必要であるがそれは日本經濟の發展段階から見ても當然進むべき重工業に全力を竭す事に依りて、その目的が達せられるから今は力を

重工業 に集中しなければならぬ、云ふまでもなく日本資本主義は既に完全に纖維工業輕工業を自分のものとし、今や世界第一のものとしたことに依つて今後の日本經濟が重工業、鐵工業に進むのは自然の數である日本經濟はこの過渡期にあるから何物を置いても先づ重工業の完成に力を集中すべく、之れが爲には他のものが少し

犧牲と なるのも致し方がない、時恰も世界は軍備充實の必要に迫られ、日本も亦その大勢の中にある、重工業の發達を必要とせる折柄、この世界的氣運に會せるはこれが完成に拍車をかけてゐると見なければならない、たゞ斯樣な現實の必要と日本の經濟發展段階の必然性の隘路が相俟つてここに重工業のインフレ時代に入つたのである、若し此のインフレ時代を無視して、この力を

他方に 廻すならば折角の重工業も完成しなくなり結果は日本經濟全体の發展を足踏させてアブ蜂とらずにならう、むろん出來得べくんば、どれもこれもすべての產業すべての階級の發達に力を盡すべきであるが、そしてこの事はインフレモツト大膽に敢

政策を 行する事に依つて決して不可能ではないが、若し大インフレを敢てせず、矢張り出來るだけ健全通貨主義で行こうとするならば、まあ致し方がないから力を重工業の繁榮に集中すべきである世の中が非常に波瀾的である際は個人でも社會でも一方的發達を期してのみやがて他方の難問を解決しうる事を意味し、初めからこの兩軍を適宜に滿足せしめようとすれば却つて失敗を招くだけである

圖寧線大荒溝其他に匪賊襲撃

【圖們國通】八日午後十時圖寧線大荒溝驛北方一キロ新市街附近に約二百の匪賊（系統不明）襲撃し電線を切斷、鮮人雜貨商方に闖入したが守備隊、自衛團の處置宜しきを得之を擊退した、ついで九日午前一時頃〇〇線リユーシャン（地名判明せず）驛東方六キロの地點に約五十名の共產匪來襲し驛建物及び守備隊に對して包圍隊形をとり機關銃を亂射しつゝ迫つたが守備隊と自衛團がこれに應戰し激戰約三十分の後之を擊退した

ラヂオ番組

十五日（月曜） 新京 滿洲國陸軍特別演習特輯

午前之部
六、〇〇 ラヂオ體操（滿語）
六、二〇 ラヂオ體操（東京より）
六、四〇 滿語講座 講師 高宮盛通
七、〇〇 日語講座（奉天より）講師 近藤嘉助
九、〇〇～一〇、四〇 觀兵式實況（日滿語） ―中央通式場より中繼―
一〇、四〇 經濟市況（東京より）（臨時）
一〇、五九 時報（滿語）
一一、〇一 成人講座（滿） 實業部總務司統計科 張明徵
一一、三〇 ニュース（日）
一一、四〇 ニュース（東京より）

午後之部
〇、〇五 經濟市況（奉天より）
〇、二〇 ニュース（鮮語）
〇、三〇 音樂（レコード）（日語）
一、〇〇 ニュース（滿語）
一、〇〇 演藝（滿語） 雙玉班 嬋娟
四、三〇 官廳ニュース
四、四〇 日用品値段（滿語）
四、五〇 ニュース（英語）
五、〇〇 子供の時間（哈爾濱より）
五、三〇 時事解說（滿語）
五、三三 氣象通報 番組豫告（滿語）
六、〇〇 ニュース（東京より）
六、二五 氣象通報（番組豫告）（日語）
六、三〇 所感 軍政部大臣 張景惠（滿語）
六、四三 所感 軍政部顧問（日語） 陸軍少將 板垣征四郎
七、〇〇 東海道演藝道中（第六夜）（靜岡より） 靜岡附近
七、五五 映畫劇（大阪より） 建設の人々 原作 久米正雄 脚色 原健一郎 第一映畫社
配役 成瀨菊藏…鈴木傳明 弟義夫…月田一郎 松村久三郎…中野英治 弟勇…夏川大二郎 千枝子…山田五十鈴 母眞智子…安川悅子 增田…芳澤一郎 紅梅亭のお梅…大久保清子 外大勢
八、三〇 時報、ニュース（東京より） 解說 高柳春雄 演出 伊藤大輔
八、四五 ニュース（日語）
九、〇〇 演藝（滿語） 西群仙 喜春
九、二〇 ニュース（滿語）

港の彼女達 42 波の上（二）
峯吟子作

「だつて、聽いところぢや、ないんでせう？」
「それは、ま、さうだけども。とにかく、エゲツナイ」
「でも、村井那里子さんもゐるんですつてね」
「あなたはあの女を、知つてるんですか」
「え、一度。銀座のウーロンで、紹介して貰ひましたは。兄に」
「黒川君に？ へーえ」
「あの方、ずいぶん、近代的な讀がおありになるんでしよ」
「え、しかし、隨分、變りましたよ」
「どんな風に」
「どんな風に、つて。今にわかりますよ。……まだ、こちらでは會ひませんか」
「え、まだ」
「二三日中に、來るでせう」
「さうね、二三日中に。さうね、あすの晩にでも、いらつしやらない？ お二人御一緒に」
「ところが、夜は、僕等は生憎仕事の爲なんでね」
「あら、失禮。ぢやあ晝でも」
「え、どうです、こゝは、氣に入りましたか。あなたは初めてでせう」
「まゝ、いゝ加減なもんね。いつもこんなにか知ら、波が高い……」
「もう、これで土用波といふんでせう、もつとも、今日は特別だが」
といひ乍ら、工藤は起き上つて、身體にくつゝいた砂を掃ひ乍ら沖を見た。
高い土用波が白いしぶきを上げて、強い正午過ぎの日を照りかへし乍ら、寄せては返してゐた。
浴客が、電車を降りて、次から次ぎに、濱を埋めた。海水浴場の教師達が、十人許りで、波をかぶり乍ら、騒聲をかけて、跳込臺を、海の中へ、持ち込んでゐた。
「おーい、おーい」
二人の方に向つて、泳ぎ乍ら呼びかけてゐる――黒川謙だ。
「あら、兄さんが呼んでるわ」
「おーい」
工藤は兩手を上げてそれに應じた。
「何て言つてるんでせう？」
「なに這入つて來いつて言つてるんですよ」
工藤は、さう言ひ乍ら、沖に向つて、手を振つた。
「冷たくつて、這入る氣しないなら……ない」
「あの向ふに黑く見えるのが……」
「あれ、あれが、淡路ですよ。あれから、あつちのが、紀州ですよ」
「ほゝ、ずいぶん、近く見えるわね」
「え、淡路へは、モーターで六時間位のもんでせう」
「そんなにかゝりますの」
「でも、あれを泳ぎ渡つた女がゐますよ」
「？」
「昔のはなしでさ。瀧姫みたいに男を追つてね」
「昔の女は強かつたわね」
「あなたには、そんな元氣はありませんか」
「ええ、これで、五里の免狀を持つてゐてよ」
「五里の？」
工藤は謎の嘘を笑ひに苦笑した
「えゝ、あなたより、自信があるつもりよ、あたし」

機構改革案

拓務なほ頑張れば愈よ廢止まで進展か

坪上次官以下聲明書の發表を飽く迄首相に要求

【東京國通】在滿機構問題に對する拓務省聲明に對する拓務首腦部會議は岡田首相の慰留にも拘らず强硬にして飽く迄發表を決意し十四日坪上次官はこの決意を携へて官邸に岡田兼攝拓相を訪問、發表に關し諒解を求めたが首相は依然發表を阻止せんとし午後七時半に至るも尚會見を終らず、而し拓務首腦部は飽く迄發表すると主張して居り若し首相の諒解を無視して迄發表すれば政府は愈々最後の强硬手段として拓務省廢止に邁進する外なかるべしと觀らる

拓務の聲明發表を

首相、翰長と共に極力阻止

【東京國通】坪上拓務次官は十四日午前九時河田翰長を訪問、菱刈關東長官の第二報告を＝説明＝拓務省の發表する聲明書に就いて諒解を求めたるに對して河田翰長は事態を惡化せしむる恐れありとの見地より聲明發表に絶對反對を稱へたので、坪上次官は更に官邸に岡田首相を訪問、同樣報告内容を説明した後陸軍が當局談を發表した以上拓務省としても意思表示する事は當然であるとて强硬に聲明書の發表を主張したるも岡田首相は陸軍の當局談は閣議決定の方針を説明したものであり誤解を解く爲のものであるが、拓務省が之に對して聲明する事等あれば一層事態を惡化せしむる恐れあるから聲明の發表は思ひ留まられ度いと聲明發表を阻止したるに對し坪上次官は現地の實情は菱刈長官の報告によつても非常に惡化してゐる事は明瞭であつて政府としては考慮する必要ある旨を力説したるに對して岡田首相も現地の實情憂慮すべきものあるため充分考慮する＝旨を＝答へたが聲明の發表には飽く迄反對である旨を述べた

「速かに官制を制定 實施すべきだ」

陸軍側の態度漸く硬化す

【東京國通】在滿機構改革問題は陸軍、拓務兩省の對立的狀態となつて政治的重大問題化して來たがこれに＝對し＝陸軍當局は改革は既に政府に於て根本方針を決定した以上速かに官制を制定して實施すべきである、これに對する現地警察官の反對は改革案に對する誤解に基くものであるから充分これに諒解を與へ斯くても尚現地警察官が政府の方針に對し反對を續けるに於ては官紀肅正の上から斷乎たる措置を取るべきであるとしてゐる、然し政府の方針が決定してから問題が斯く紛糾した事に就ては警察官の鎭撫に當るべき關東廳首腦當局並に拓務當局の責任として、その措置に對して不滿を有つてゐるが陸軍としては飽迄既定方針の遂行を要求するので萬一現地の反對に依つて岡田首相は同改革案實施の遷延を圖る如き場合は斷乎實施を迫り内閣の瓦解も辭さないとの＝決意＝を有してゐるが軍部の態度の漸次硬化して來てゐる事は注目される

在滿機構案

政府は絶對不變

【東京國通】政府は今回の在滿機關改革案が最適の過渡的便法であると確信し閣議決定の根本方針は絶對不變の方針を以て進む事になり問題の紛糾如何に拘はらず臨時議會に提出するものとして諸般の準備を急ぎ既に右官制案については過般法制局で作成を終り大藏省へは數日前陸軍、外務拓務各關係省へは十三日夫々官制案を回附し豫算其他の事務的折衝を開始することになつた

文官次長制に

關東軍、關東廳も反對

（東京國通）政府一部と軍部との間に考究されてゐる警務部長下の文官次長制問題に對し十四日午前拓務省に關東某局長より關東軍も關東廳も反對なる旨電報が來た由

關東軍少壯將校の空氣漸次緊張

重視される成行き

關東軍側に於ては在滿機構問題の解決は一に中央政府の措置に待つべく關東廳側の運動をよそに終始沈默を守り靜觀的態度を持して居るが、最近少壯將校間には其後一部の動向が動もすれば感情に走り國策の大局を忘却するかの恨みあり重大非常時を目前に控えて全く寒心に堪えずとなし、審々悲憤慷慨的論議が聞はされるに至つた、而して空氣は漸次緊張の一途を辿りつゝあり成行きは極めて重要視されてゐる

今直ちに文治行政は不可

林陸相談

【東京國通】省議開催前林陸相語る

滿洲國の現狀を見たもので今直ちに所謂文治行政で良いと云ふのが何人あるか、陸軍としては成るべく各方面を刺戟せずに親切にその誤解をといてやるといふ態度を採つてゐるが自信なきである

輿論は自ら正しい主張に對し共鳴支持して來る事と確信してゐる、一兩日中に岡田首相に會見して腹藏なく陸軍の意圖は開陳するつもりで今日云ひ度い事はあるが暫く差控へておく

機構問題を中心に

政民連繫の氣運色濃し

【東京國通】政民間に在滿機構問題を中心に連繫説が擡頭して一部幹部は政策協定問題と關連し精神的連繫にまで進めんとの意向を有するものの如くであるが、民政首腦部は超黨派的問題に關する限り一致するが政治的立場を異にして居り殊に政友は黨狀複雜で今俄かに連繫し得ぬと自重的態度を示してゐる、唯政策協定問題は相當乘氣で米穀調査會の審議と併行し連絡委員たる島田、東、小山、高田の四氏が協議を續けて居り、或は十一月中に目鼻がつき更に思想敎育對策も協定されるかも知れぬ、唯精神的連繫までは困難視されるが政情が變化すれば連繫説も表面化する模樣である

首相に進言の形式で

拓務省が聲明

【東京國通】拓務省の聲明を首相に對する進言内容として河田書記官長より十四日午後十時半左の如く發表した

關東廳職員は原案に對し反對してゐるのは誤解によるとか一身上の事を考慮してゐるとか傳へられるが、左樣な事はない

積年現地に於る体驗により現地の情勢に鑑み對滿國策遂行の上に最善を期し、誤りなからしめんとの眞意に出てゐるものである反對の主なる點は

一、警務部長に憲兵隊司令官を充てること
二、警務部内に武官の介入すること
三、憲兵が警察官の職分を侵すこと

この三點によるものであるが、その趣旨は此際文治武治を明確にしてゐる事にある、明確にすると言ふのは在滿諸機關は聯繫協調の必要がある、然るに文治武治を區別するといふ事は、聯繫は不必要と言ふ意味ではない、自分達はその必要を認めて居り協和の態度で國策遂行に當るべしと言ふにある、憲兵隊司令官を以て部長を兼ねしむる事は憲兵警察なりや否やどの形式的議論をもつて押して行くのではない多年の經驗又對滿國策の遂行上こうやるのが國家のためだとの堅き信念に發してゐる故にこの問題を取扱ふには最も愼重に且つ迅速に解決を圖るべき國家的重大事件なりと思惟す從つて大乘的見地に立脚してこれが圓滿公正なる解決を圖るべきである、翻つて考へるに滿洲國の行政機構を整へるだけではいけない更にこれにも增して必要なのは人の和である故に行政機構を整へても强行しては面白くない、强行しないでこれに從事するものが協調悅服して欣然新機構に投合參加せしめる樣に勉し、こゝに人の和を得て眞に誠忠誠意を盡さしめることが必要であると信じます

ソ聯政府は辭表を却下

從業員の退職防止に躍氣 首腦部善後策協議

【ハルビン國通】北鐵赤系從業員で北鐵交渉成立後歸國を欲しないものは、北鐵讓渡交渉成立以前に退職して退職金の支給を受け滿洲國に踏み止どまらんとし、ルデー管理局長に辭表を提出した者もあるが、右につきソ聯首腦部は善後策會議を開き檢討した結果、左の理由で辭表を却下した、即ち

一、北滿特產物出廻期を控へ從業員の手不足の折柄辭職を許し難い
二、病氣の理由を以てする辭職も指定醫師の證明せるものに限る

斯くてソ聯側は今や種々の口實を設けて自國民の辭職と動搖の防止に躍氣となつてゐる

巡査代表けふ

要路歷訪に決す

【東京國通】憲兵隊司令官の警務部長兼任反對を陳情すべく上京せる關東廳巡査代表十四名は大阪及び東京の警察署員の同情醵金を受け意氣軒昂十五日は午前八時宮城を遙拜して後拓務省、總理官邸、兩院議長政黨本部等を歷訪して憲兵警察の不可を説く筈であるが代表團は身邊危險を傳へられて居り宿所を秘密にしてゐる、代表の一人は左の如く語る

在滿機構改革に就ては軍部案が反對されるものと信じてゐたところ閣議を通過したので大義名分上蹶起した譯である、滿洲の實狀は文治行政の確立が期待されて居り軍は憲警統一をせずと言つてゐるが我等は信じ得ない

けふ午後三時から

應援警官も合し聯合大會

決議聲明書を要路に送附陳情

關東憲兵隊司令官の警務部長兼任案で俄然問題を惹起した關東廳警察官はその猛烈な反對運動を續け各署で巡査大會を開催した結果さきに各署代表巡査十六名を東京に派遣し中央要路に陳情するところあつたが更に幹部並に巡査の結束を强化するため十五日午後三時から新京長春座で大演習警戒應援警官の慰勞會開催後關東廳全警察署聯合大會を開催し同大會で決議した聲明書を各要路に送附することになつた

兒玉博士歸朝

【東京國通】十四日午後九時横濱に入港した淺間丸の歸朝船客中には大連の獵奇殺人事件に關連して未だ世人の記憶に新しい勝美夫人の夫兒玉誠博士があつた、博士は二月末一學究としてドイツに遊學したが、天然痘の病源体に關する醫學上の收獲を土產に身心共に癒へて更生して歸朝したもので、今後博士は北里研究所に入ることに內定して居る

二期當選の電話架設

來月下旬着工

設置場所變更は急いで提出されたいと

新京工務所では本年度第二期當選電話の架設工事で目下多忙をきはめてゐるが屋內の交換設備は既に九月末ごろから着手し豫定の如く十一月上旬には設備を完了從つて架設工事も十一月下旬ごろから着工のはずであるが第二期の當選者のなかにはその後相當住居を移轉したものがある模樣なのでこれらの人々は今のうちに至急架設場所の變更願ひを

鐵道六十三年記念

勤續者表彰式

【東京國通】我國に鐵道が敷かれてから六十三年になるので十二日の鐵道記念日をトし內田鐵相は廿年以上の勤續者六百四名の表彰式を行つた、中には四十年も鶴嘴を振り上げて暮した老工夫もあつた

▲王平治氏（奉天電燈廠長）十五日午前六時着奉天から
▲保康氏（北滿特別區公署參事官）十五日午前八時三十分發哈市へ
▲蜂谷總領事（奉天總領事）十五日午前九時發奉天へ
▲小泉由太郎氏（神奈川縣議）十五日午後七時三十分來京

團体

▲滋賀縣粟田農學生七十五名十五日午前六時廿分發南行
▲南滿工業學校附屬職工五十二名十五日午後三時二十五分歸京哈市から同日午後四時三十分發南行
▲日本鐵鋼協會廿九名十五日午前六時來京十六日午前八時三十分發哈市へ十七日午後三時廿五分歸京同日午後四時三十分發南行
▲長崎市立商業學生六十六名十六日午前六時來京十七日午前十一時三十分發南行
▲青島中學生五十名十七日午後六時五十五分來京旭ホテル投宿十八日午後四時三十分發南行

ユ國皇帝暗殺はハンガリーで用意

國際聯盟も成行を重大視す

【ジュネーヴ十三日發國通】アレキサンダー一世暗殺事件は共犯者の取調べの結果意外にも犯人はハンガリーに於て周到な計畫を樹てゝ今回の擧に出た事が判明世界の視聽は一齊にハンガリーに注がれるに至つたが聯盟側では今回の事件を特に重大視し現下の歐洲の事態が一九一四年と同一であつたならこれがきつかけとなつて戰爭が起るのは避け難いところであるとの觀測が行はれてゐる、從つて聯盟側に於て聯盟規約第十一條に定められたところに從ひ「國際の平和を擁護するため適當且つ有效と認むる措置をとる」充分な理由があると觀てゐる

軍縮豫備會談

劈頭日本は態度闡明

【東京國通】軍縮豫備會談は愈々山本少將のロンドン着により數日中に開かれるが今回の豫備會談は前回同樣日英、日米、英米間の個別的會談の方法で劈頭より三國夫々主張に關する根本方針を提示し直ちに實質的問題の討議に入るものと期待されてゐる、而して帝國政府は既定方針に基き豫備會談再開の劈頭で松平、山本兩代表の適切と認める形式により

一、帝國政府は現在の艦種別比率主義によるワシントンロンドン兩條約は今日の事態には不適當と認めざるを得ざる事
一、よつて帝國政府は兩條約を廢止して新たに公正妥當且つ實質的軍縮を齎すべき新原則及び方式で列國間に一九三七年一月以後の事態に適應する新軍縮協定を締結すべき事を提議せんとする根本的態度を明確に闡明するに决定してゐる、之に對し英米側が如何なる具体的主張を提示するか最も注目される

海軍大演習

終局へ

【東京國通】大演習統監部發表、第二期演習終了後根據地にあつて次期演習の準備をしつゝあつた青赤兩軍艦隊は作戰計畫に基き十月七日午後某方面に出動した、第三期演習は兩軍將士が日夜不斷の猛訓練の精華を集中して雌雄を決せんとし兩軍の意氣開戰前既に敵を吞むの慨あり十月十一日戰機熟し演習開始と共に暗夜を衝いて兩軍進發十二日未明早くも各所に戰端を開始す天候快晴であるが風强く諸艦艇航空機の行動困難であつたが風波を冒して戰場を馳驅し壯絶を極め暗黑の戰場に肉迫襲擊を決行し夜半戰鬪酣なる時演習は中止された、時に十三日午前零時十五分、本年の大演習は期間三ヶ月に亘り帝國海軍の各種兵力の大部分が參加しその規模の大なるは昨年の特別大演習と共に近來にないものであつた、演習期間を通して特に大なる事故もなく順調に運び吾人は右體驗に基き一層研鑽して重大時局に帝國海軍の實務遂行に萬遺憾なきを期する次第である、參加全軍は途中更に戰後特殊演習を行ひつゝ十五日大阪灣に集合、二十日大阪城東練兵場で觀兵式と空中分列式を擧行し二十一日統監宮殿下より演習の講評を受け大演習を終結する豫定である

その日／＼

□ 滿洲國初の陸軍特別大演習けふ觀兵式をもつて終る、仰ぐ皇帝の英姿かしこし
□ 建國こゝに三年王道の國治り軍國滿洲の榮えゆく姿嬉し
□ 在滿機構改革案問題、この收拾すべからざる狀態に至らしめたもの政府の責任
□ 鐵道開通六十三年勤續者を表彰、陸蒸氣が特急あじあまで發達進步
□ 民都のベスト、一名だけでやみそう、でかしたりな防疫本部か

人事往來

▲關市長（奉天）十四日午後七時三十分着奉天から
▲水谷文書課長（關東廳）同上大連から
▲芳賀千代太氏（新京鐵道事務所長）同上

海外經濟

品目	値
倫敦銀塊	二四片八分三
同 先物	二四片二分一
紐育銀塊	[illegible]
孟買銀塊	[illegible]
米英爲替	[illegible]
米日爲替	[illegible]
米支爲替	[illegible]
スチール株	[illegible]
アナコンダ株	[illegible]

▲米棉 現物 十月限 十二月限 一月限 三月限 五月限 七月限 [illegible]

▲上海標金 昨日休會 本日寄 步値 [illegible]

▲上海日本向 賣 買 [illegible]

▲上海倫敦向 賣 買 [illegible]

▲上海紐育向 賣 買 [illegible]

各地市場

▲大阪株式 大株 新 / 同新 / 鐘紡新 [illegible]

▲同 短期 [illegible]

▲大連株式 大新 / 鐘新 / 東新 / 日產 [illegible]

▲奉取 五品 / 先新 / 豆新 [illegible]

▲大阪三品 滿取 / 東新 / 大新 / 日產 / 鐘新 / 滿鐵 [illegible]

▲仁川期米 九月限 十月限 十一月限 十二月限 一月限 二月限 三月限 四月限 [illegible]

▲大連特產 當限 中限 先限 [illegible]

◈大豆 袋込 十月限 十一月限 十二月限 一月限 二月限 [illegible]

◈豆油 現物 十月限 [illegible]

阪神日米 第一回 [illegible]

▲大連上海向 現物 [illegible]

▲大連煙台向 [illegible]

▲大連金鈔票 現物 寄付 步値 [illegible]

引 高 安 出來高 大連銀大洋 現物 [illegible]

◈豆粕 十一月限 十二月限 一月限 二月限 [illegible]

◈高粱 現物 九月限 十月限 十一月限 十二月限 一月限 二月限 [illegible]

新京市況

大豆 高粱 小豆 混保大豆 十二月限 十月廿八日 鈔票對金票 出來高 金票對國幣 鈔票對金票 國幣對鈔票 鈔票對現大洋 [illegible]

五千の精鋭中央通りにけふ特別大演習觀兵式

皇帝旗寒風に威容をなびかせつ 仰ぐ康德帝の御英姿

建國最初の歷史的陸軍特別演習を親しく統監遊された滿洲國皇帝陛下にはけふ十五日晩秋の寒風に枯葉舞ふ國都中央通り並に大同大街において特別演習觀兵式を行はせられたこの日皇帝には午前八時四十分皇宮御發輦、同五十五分諸兵敬禮の裡を驛前廣場式場の幄舍に入らせられた、御少憩の後御座所に立たせらるゝや諸兵指揮官王靜修中將は御前に進み人員言上を了れば皇帝には皇帝旗を先頭に鹵簿を中央通りにしづゝゝと進められ張海鵬大將、菱刈關東軍司令官王中將、西尾關東軍參謀長等諸星これに從ひ驛前より大同大街に整列した諸兵を閲兵次いで新京神社前幄舍に入らせられ、同九時卅五分凛々しき御英姿を神社正面御座所に立たされるや分列隊形を整へた五千の諸兵部隊は靖安軍、教導隊、騎兵の順序で榮えある分列行進を開始、同十時五分分列式を終了、王諸兵指揮官は御前に進み敬意を表して諸隊の先頭に引き退る、皇帝には同十時五分幄舍を御發輦、軍樂隊の國歌奏樂裡を、同十時十五分皇宮に還御遊され、ここに輝しき特別演習觀兵式は終了した

皇帝陛下 賜餐場臨御

大演習全行事を終らせらる

皇帝陛下には觀兵式より還御の後、午前十一時三十五分再び皇宮御發輦自動車鹵簿にて張侍從武官長等を隨へさせられ、同四十分西公園忠魂碑前賜宴場に御着、この日光榮に輝く統監部幕僚、演習參加將校日滿高位顯官凡そ五百名の奉迎を受けさせられ國歌吹奏裡に玉座につかせられ賜餐の御儀に移る、國軍最初の歷史的大演習に無事大任を終へた將星等の面上には今日の光榮と感激に喜びの色あふれ、折柄流れる柔らかなメロデーと渾然融和し式場は和やかな空氣が滿ち溢れた、皇帝陛下には御機嫌殊の外麗しく玆に康德元年陸軍大演習に伴ふ全行事全く終らせられ、同十一時五十分諸員敬禮、國歌吹奏裡に賜宴場御發正午皇宮に還御遊ばされた

紅葉狩り 盛況

新京驛、ツーリストビューロー主催、鐵路局後援の龍潭山紅葉狩りは十四日秋晴れの天候に惠まれ團員一行百七十名は午前七時三十分新京發臨時列車で出發、落葉を踏みわけ二十分にして頂上に到り終日團欒を貪り午後六時二十分歸京した、なほ團体旅行としてはこれで本年度の最終である

特急あじあ用の出札ボックス新設か

來月一日からいよいよ運行する特急あじあの急行券發賣、客荷の積卸しについて鐵道事務所、驛、手小荷物取扱事務所でそれぞれ準備にとりかゝつてゐるが最も懸念されてゐるのは現ダイヤにおいても出札係で相當混雜を極めてゐる上改正ダイヤになれば急行列車二往復に特急一往復が增加するので現在の出札では間に合はぬので取敢えず特急券だけを發賣するためにボックス一個を三等待合室の隅にでも新設して混雜を緩和するやう計畫中であるがなほ別に出札係員の增員は考慮されてゐない

ペストの豫防注射 既に一萬八千

愈よ徹底を期す防疫本部

國都にペストが發生して新京防疫本部における應急防疫手段によつて漸く續發を喰ひとめた感あるが十三日から一齊に七ケ所においてペスト豫防注射實施の結果、注射を受ける者は潮のやうに押寄せた、十三、四の兩日で注射をうけたものが一萬八千三百二十名十四日だけで六千二百二十名それに戶口調查が十三日、十四日で四千三百十九戶、望診人口二萬一千三百五十六名に達し十四日殺鼠劑を配布したのが一萬一千八百個に及んだ

豫防注射を受ける人々へ

細菌檢查所 片山技師の談

ペストの豫防注射について滿鐵細菌檢查所片山技師は語る

豫防注射は二回で完了するが、一回では效果はないのである、出來得れば三回やればなほ一層よいが、いろいろの都合からそれが出來ないわけだ、その間五日間を置くことになつてゐるがそれは嚴重な意味ではなく最大限一週間以內に繼續すればよい、注射當日および翌日は劇動、入浴および飲酒を愼んで貰ひたいが、これとても最も弱い人を標準したもので、普通の人はその日位で別に差支ない筈だ、一般有熱者、心臟病、肺結核、腎臟病殊に姙婦、脚氣および胸腺淋巴体質の徵候のある方は遠慮されるがよいが、普通人はこの際全部受けて置いて貰ひたい

伊通行バス あすから運轉

滿電の伊通行バスは明十六日から每日左の時間で一日一往復開通する、料金は金二圓五十錢

▲新京發（滿電前）午前八時 伊通着正午
▲伊通發午後一時新京着午後四時

大演習畫報

大演習最後の大觀兵式分列を受けさせられる康德皇帝の御英姿（上）と陪觀席の滿洲國要人（左から四人目が鄭總理）

今朝の寒さ「早くも零下三度」 例年の初雪は十七日

昨今急に寒さは嚴しくなつて街ゆく人は早くも外套防寒帽に身を固めそれでもふるへてゐる程、硝子窓は薄氷でくもり、道路の水溜りには薄氷さへ張り詰めてゐる、新京における今朝五時半の氣溫は零下三度、十五日の例年平均氣溫二度に較べて五度低下してゐる、昨年の十五日は八度三分で隨分暖かであつたが昨年の初雪は矢張十七日の神嘗祭の日であつた、例年の初雪の平均日も今月十七日になつてゐるから今年の初雪ももう遠いこともない風は北から西寄の風で天氣もけふは少し曇つてゐるが明日あたりから晴れるだらうと、全滿に亘つて天氣は快晴である、奉天以南はまだ零下に降つてゐないが開原では今朝すでに零下に降つた本格的寒さに進むばかりだと觀測所では語つてゐる

西公園の池干し 近日中に實施

市民へは極內密に

日一日減水してゆく西公園潭月池の救濟策として、根本的修理を行ふべく池干しを實施することになつてゐたが、いよいよ準備萬端成り、近日中になされることになつた、既に着手日取も內定してゐるが當局ではいざ池干しとなると見物人が殺到作業上多大の支障を來たすことになるので、氣を病んだ結果なるべく極秘裡に實施しやうといふことにしてゐるが、何しろ同池の乾水は恐らく初めての事ゆゑ相當大魚珍魚も現はれやうと非常な興味を呼んでゐる、水揚げはポンプによつてなされ魚類は直ちに隣の蓮池に移すはずである、なほ修理工事は本年結氷期まで一部分に止め、來春解氷期を待つて仕上げることになつてゐるが、この經費四千余圓で、これにて細りゆく潭月池も完全に救はれることになるわけだ

三浦屋のマリ子 行方不明

三笠町料亭三浦屋抱へ酌婦マリ子こと蒲主千代（二六）は十三日午前九時ごろ善生堂醫院に行くと稱し前借千圓のまま行方不明となつた

街の日記

大興公司で 絨毯展示會

新京城內北大街大興公司滿洲土產陳列所では今春來全滿各地にわたつて絨氈類（敷物用馬鞍用）の蒐集に大童となつてゐたが、この程赤峯、烏丹城、林西方面の地方色豐なものが可なり豐富に蒐まつたので左記の通り展覽會を開催、同好者の供覽に附すことになつた、なほ會期中にて即賣もするはずである

一、會場 新京北大街（滿電バス專賣署前下車）大興公司本社
一、期日 十月二十日（土曜日） 十月二十一日（日曜日）
一、電話の御用事は二、三三三番へ

滿電記念賣出 十六日から

滿電では十六日から二十日まで十萬燈突破の記念賣出を行ふ

毛皮大廉賣會 吉野商品館で

此の二三日來めつきり寒くなつて愈々毛皮の必要を感ずる候になつたが毛皮舗として有名な協泰毛皮商會では十七日から二十一日迄吉野町商品館に於て毛皮、及び防寒具の大廉賣會を催す事になつた

松本繁之氏 近畿風水害寄附

市內日本橋通り有隣生命保險株式會社代理店主松本繁之氏は近畿地方風水害義捐金として十四日金十圓を本社に寄託したので地方事務所庶務係に之を轉送した

市場會社催宴

新京市場株式會社では平素密接關係ある地方事務所、警察、取引銀行ならび地元一二新聞社幹部を十三日午後六時から八千代舘に招待晩餐を催したが社長荒木氏代理として神崎副所長、窪津支配人、丸山、西村兩重役列席歡談九時頃散會した

寄附

新京驛勤務安田叕一氏は今回京圖線朝陽川へ榮轉に際し子息在學記念として一封を西廣場小學校父兄會へ寄附

けふの銀相場

金票對國幣　一二九圓五〇
鈔票對金票　一三四圓一五
國幣對鈔票　九〇圓六五
鈔票對現大洋　九七圓八〇

第七回福民彩票 頭彩 一二、五六五

今度は安東と四平街へ落つ

第七回福民獎券の抽籤は十五日午前十時例の通り新京總商會樓上に於て行はれたが神運に惠まれた大口當選は左の通りである

頭彩 一二、五六五
代賣店甲組 安東唐傳恩
乙組 四平街高文郎

二彩 二九、〇〇四
代賣店甲組 奉天夏傳容
乙組 奉天程俊鵬

三彩 一四、五四九
代賣店甲組 奉天夏傳容
乙組 ハルビン山口商店

四彩
一三一九〇　四五五七五
二〇〇三二　九六九一
一八五五一　一四九〇二
一九四〇一　四六三三二
四六〇九四　二五六九三
四八四七二　四三一四二
一二五二二　四四九六
七九八九　四一七二六
三二一四八　四四九五
一七九二七　四二二三〇
一四四六六　五二三四
一九二七四

五彩
四四六四一　一五三五九
三一八二　五五二四
三七三六八　四一八四六
三二八三〇　二六七六七
三六〇九五　四二四二七
四〇八五六　二三〇四三
九一四〇　二七〇五二
四一九二七　四九四一四
二三一六〇　二三七五九
七六七四　九六一八
三一九一六　一三四三〇
三〇六八七　四五二〇二
四九三二四　四八三三
一二〇八八　六五九〇
三三二六　八九〇五
四九七　五一九四
三八四　三六五一
四一二五七　二五九二一
三八五八〇　二二八三九
三三四一九　三二八〇五
四三七一七　三七五一三
三〇九六三　一三七八七
四四五〇七　一九七〇三
三九六二六　三八二六〇

西部線大吹雪

【ハルビン國通】北鐵齊電によれば、北鐵西部線就中興安嶺方面は寒氣俄に襲來し、十四日は非常な吹雪で北滿の寒さも愈々本格的となつた

小島孃 砲丸投新記錄

【東京國通】第十一回日本陸上選手權大會に於て小島文子孃は砲丸投で一一米〇一の新記錄を出した

明治勝つ 對立敎二回戰

【東京國通】リーグ戰明大對立敎第二回戰は五對二で明治勝つ

立敎０００１０００１
明治０００４０００１Ａ
５Ａ―２

第三回煖房具展覽會 あすから南廣場で

新版 江戸八景（第一上映 上巻）

行友李風氏外四氏作　鏡銀平他二氏畫

一九三

旗本くづれ 六

瀧川駿 （二）

旅がらす

旅から旅――。」

あてどを定めずに、草鞋を穿いてからもう五年。――次郎太は二十六だつた。

秩父の山奥に、たつた一人で淋しく暮らしてゐるお袋さんに、他所目になりとも、一目お目に懸りたいと思つたばつかりに、次郎太は野州鶴の家から、木曾街道の熊谷の宿へ道を急いでゐた。――

向ふに見えるのが、行田忍の城下だ。――どう踏み違へたものか、森林の立て場で穿き替た、新しい草鞋の紐がぶつつり。――

「縁喜でもねえ。」

と、思つてゐる矢先。まさかと思つた十月の空の北時雨。

「チエ」

と、空を見上げて舌打。次郎太は、道中合羽をぽんと肩へ跳り上げて、駆み腰になつた。そこへ、

「お兄さん」

と、艶くるしい娘さんが、草鞋を持つて駆出して來た。

「ふふふん」

と、思はず出る笑ひが、次郎太の口許に浮んだ。――商賣とは云ひながら愛嬌のないこつたア。次郎太は於可しくなつた。

「美しい娘さんだね、名は何んと云ふんだえ?。今日は急ぎの道だが、どうせ年から年中旅から旅の旅鴉だ。これを御縁に、いづれは一度御厄介になるぜ。」

と、次郎太は娘の呉れた草鞋を穿きながら、眼を笑にうるませて、なつこい眼で、娘を見下げた。氣を悟られたと思つたのか、娘は心持ち顔を赧らめて、

「そんなのぢやないわ。」

と、前掛で顔を埋めた。娘は商賣人に似合ず、おぼこいやうだ。年齢は十七八、お茶なら

ば出ばなの兆だ。――旅籠屋の[illegible]娘と云ふ縁起だ。

「お寄りにならない。」

と、内氣な素振。――立て場のあばずれた飯盛女に慣れてゐる次郎太だが、この娘には妙に心が惹かれる――。草鞋の紐を、殺生結びに締めあげてしまつても、流石にこの場は無碍にも、出來かねる模様だ。

「どうして、そんなにお急ぎなるの?」

と、他人の城を通り越した、しみりした一ト言だ。――寂しそに、美しい指先で郡内の前掛をぶつてゐる。

「たつた一人のお袋さんに、一目逢ひていからよ。」

と、思はず泥臭。

「そんなに、おつ母さんに逢ひたいの?」

と、眼を伏せて。

「――生れてから二十一日間しか抱かれて寝なかつたお袋に久しぶりに逢つて、思ふ存分抱かれて見ていいのよ。――掌てあつたお前さんに、話が妙に濕つぽくなつたなア。――はい内證だ。」

次郎太は無雜作に、紙入から小粒を取り出して、娘の手に握らせた。

待な斷りもせずに、次郎太は振分荷物を、ポンと肩に。――

「まつて下さい!」

と、二三歩足を運び出した次郎太に縋るやうに、娘が呼とめた。

「何か途中への言傳けでも――」

次郎太は踏み停まつて、首を廻した。

「待つて下さい。兄さんを何だか私は、なんだか他人のやうに思はれない。本當の兄さんのやうな氣がします。」と、娘は、眼に涙を一杯ためてゐた。

「ふふん。若い娘つ兒は、何時でも時に夢を見るもんだ。」

と、人なつこい眼をうるませた。

十月十六日 火曜 庚申 佛滅 開 翼宿　舊九月八日

●一白の人 憂ひの淵に沈むよりも氣を樂々と持つべし 申と辛と寅が吉
●二黒の人 遅るゝとも静かに進むべし急げど躓き多し 丙と申と癸が吉
●三碧の人 生氣壯なる日氣を揃へて勵めば萬事成易し 甲と辛と寅が吉
●四緑の人 心静かに萬全の策に向つて進めば喜びあり 丙と辛と寅が吉
●五黄の人 裁はるゝ所僅少なりとも陰忍して時を待て 丁と申と癸が吉
●六白の人 油斷する時は意外の失敗を招く注意が肝要 丙と申と壬が吉
●七赤の人 進むに七分守るに三分なれば過ちなく終吉 丙と丁と癸が吉
●八白の人 心進むにあれども足の運びの附き難き如し 巳と申と亥が吉
●九紫の人 人の爲めに勞を惜まざれば餘慶自ら集まる 甲と庚と寅が吉

大阪商船出帆 門司、神戸（大阪行）

×印二三等船客設備船 ▲印 廣島寄港

（午前十時大連出帆）

船名	月日
うらる丸	十月十七日
×志あとる丸	十月十八日
はるびん丸	十月十九日
姫米利加丸	十月二十日
扶桑丸	十月二十二日
香港丸	十月廿二日
ばいかる丸	十月廿四日
×たこま丸	十月廿六日
うすりい丸	十月廿七日

切符發賣所 滿鐵沿線主要各驛及各地ジヤパンツーリストビューロー案内所

船車連絡切符（往復切符は汽車二割引、汽船一割引、通用期間二ヶ月）

大連、門司、神戸間乘船切符（往復切符は復路運賃二割引通用期間三ケ月）

專屬荷扱所 各地國際運輸會社支店

大阪商船株式會社 大連支店電話四一三七番 奉天出張所電話四〇八九番 新京出張所電話二二一六番

新京ヨリ京圖線ヲ通ジテ日本ニ行ク最捷路

滿洲行			日本行	
敦賀	毎二の日 午二時發		毎六の日 午二時發	
清津	毎の前二日 三日午四時發		毎の前三日 八日午一時發	
羅津	毎の午三日 三日午四時發		毎の午六日 八日午六時發	
雄基	毎三の日 午六時着		毎六の日 前八時着	
浦汐	／		毎〇の日 午三時發	
日鮮滿連絡船	滿洲丸		天草丸	大阪八日十日 雄基清津出帆
浦汐	／		毎〇の日 午三時發	
雄基	毎六の日 前九時發		毎の未明 一日前六時發	
清津	毎六の日 午四時發		毎の午三日 一日午七時發	
敦賀	毎八の日 前八時着		毎三の日 午三時着	

北日本汽船株式會社 代理店 國際運輸株式會社 新京支店

開業廣告

內科、外科、花柳病科 産婦人科、耳鼻咽喉科

井水醫院

入院隨意　曙町二丁目廿一　電話五三九七番（東二條通交番隣）

開業

産婆

御一報次第参上 親切迅速をモットーに

內山そに

永樂町三丁目一六 電話呼四六〇六番

御待兼の**御座敷**が出來上りました 是非一度御試しを

風呂は何時もわいて居ります

嬉野

三笠町三ノ七 電話三八三〇番

學生募集

一、講習科目 滿洲語
一、講習期間 十月二十二日ヨリ十二月二十一日マデ
一、時間 自午後一時至三時（一班）自午後三時至五時（二班）
一、會費 金四圓
一、教科書 簡易支那語會話編
一、講師 北京人
一、初歩ヨリ懇切ニ教授ス

新京富士町通り六丁目

拓殖大學經營新京講習所

學生募集

滿蒙第一の教育機關

指定 大連自動車株式會社

大連自動車運轉手養成所

大連市山縣通二十二番地 電話8935番

交通文化の第一先驅

天ぷらと季節料理

新京ダイヤ街（永樂町二）

天平支店

電話三三九一番

天平鍋と天平すし

本店 大連浪速町

萬年筆

日本一のセーラー萬年筆

株式會社 阪田製作所 新京專賣所

西山萬年筆專門店

新京ダイヤ街（電話五〇九番）

斯界の王者

國神ストーブ

▼國神ストーブ十大特徴▲

一、三聯筒燃燒器付
二、瓦斯自然燃燒器付
三、燃料節約
四、放熱力偉大
五、耐久力絶大
六、連續燃燒
七、胴體一本鑄造
八、使用簡易
九、優美堅牢
十、價格至廉

發賣元 三菱商事株式會社

特約販賣店 泰利號 新京日本橋通九〇 電話三一六九番

三和洋行 新京日本橋通五五 電話五九五七番

碎栗寒水 赤黒煉瓦 河石石砂 運搬業

販賣

東茂洋行

富士町二丁目廿六番地 電話四九三二番

ライラワーアランプ 池電乾田岡

和登洋行 新京日本橋通り 電話長二〇四〇

煖房界の最高權威

煤煙防止の模範

價格低廉 品質優良

取扱簡易 焚付簡單

部分品取替自由

豐富に取揃あり

モハンを買つて曾て後悔なし聲價歳月と共に高し

MOHAN

モハンストーブ

滿洲國中國 總代理店

大徳洋行

大連市監部通三三 電話{五六〇七 三二七五}

特約店

吉林 增島洋行	吉林省城新開門街
錦縣 千村洋行	錦縣大馬路
公主嶺 伊藤圓次郎商店	公主嶺朝日町一丁目
開原 田口商店	開原大街一七
鐵嶺 石松商店	鐵嶺松島町
奉天 哈達洋行	奉天千代田通
奉天 三省洋行	奉天千代田通
奉天 千村洋行	奉天浪速通
撫順 田中金物商店	撫順東四條通一七
安東 澁谷恭三郎商店	安東縣四番通四丁目
鞍山 盛海洋行	鞍山大和町四之三五
鞍山 田淵榮次郎商店	鞍山北一條町
營口 大瀬洋行	營口新市街千代田街
營口 達見洋行	營口舊市街永世街
濟南 協華電機行	濟南府大馬路緯三路
青島 大青洋行	青島小港路二號
天津 大澤洋行	天津日界旭街一一
旅順 久富商店	旅順市乃木町
大連 千村商店	大連市伊勢町九三
同 福田金物店	同 浪速町二丁目
同 高井商店	同 聖徳街一丁目二
同 船塚洋行	同 浪速町三丁目
同 中山洋行	同 武藏町七〇
同 宮崎洋行	同 土佐町四八
同 三上商店	同 須磨町
同 徳本洋行	同 得勝街三三
同 政記公司五金船具店	同 敷島町三六
新京 天野商店	東一條通一六
新京 天勝東	城内二馬路口
新京 佐藤洋行	日本橋通り

夜間作業に

光!!!

岡田式ガソリン燈

用途 土工作業場、廣場 軍隊、警察、巡視 鐵道、鑛山、農場

特徴 乳白色光强力、耐熱耐寒 耐風雨、燃料經濟、取扱簡便、價格低廉

五千燭光作業燈　二千二百燭光下照燈　七百燭光前照燈

製造發賣元 東京 株式會社 **明工社**

奉天營業所 千代田通四〇番地（電話四六四〇番）

哈爾賓營業所 埠頭區水道街三一（電話四〇九二番）

在庫豐富 カタログ呈上

新時代の寵兒

日の丸ストーブ

TRADE MARK

ストーブ界 人氣の中心

本品は貯炭式で簡單に上部から着火し上層より下層に燃燒しつゝコークス化して更に下層より上層に完全二重點燒する點は絶對他品の追隨を許さざる最大特色なり

國立燃料研究所 試驗成績 熱効率第一位 燃料經濟 炭種不選

カタログ進呈

特長 一回の裝炭にて何等の手數をかけずに十時間以上の温度を保つこと 調節自由

製造發賣元 日の丸ストーブ商會

特約店

大正九年十一月二十四日第三種郵便物認可

新京日日新聞
朝刊
本紙夕刊共八頁
發行所 新京日日新聞社 新京永樂町四ノ一 電話三二五・三三〇〇
發行人 十河榮忠
編輯人 松本勇
印刷人 永越內之介

改革に猛然反對 悲壯血をはくの慨

決議、聲明を滿場一致で可決 長春座の全警察署大會

三十數名の警官 交々壇上に立ち

在滿機構改革問題に關し警務部長の關東憲兵隊司令官兼任に端を發し五千の關東廳警察官は敢然起つてこれが反對の烽火を揭げ猛運動を開始し上下一致團結し飽迄反對に邁進するに決し險惡な空氣を漂はしてゐるが十五日滿洲國の歷史的大演習の終了を楔とし全滿各署からの應援警官百五十名を加へ新京長春座で華々しく關東廳全警察署聯合大會を開催した、開會劈頭高山新京署長壇上に起つて開催の挨拶を述べ次いで新京署渡邊警務主任起つて同樣大會の理由を述べた後高山署長から座長推薦をはかり滿場一致で關東廳出張所山中事務官を推し同氏座長席に着き卜部警部補から左の如き決議、聲明書を朗讀し滿場一致可決直に拓務大臣、樞密院議長、貴衆兩院、河田內閣書記官長、金森法制局長官、各政黨總裁、警視總監その他政府要路に打電し終つて各署代表の意見發表後泉警視の閉會の辭があり同九時閉會したたは大會の會場にあてられた長春座は上下ともに警察官で埋められ正面には警察章が揭げられその左側に關東廳全警察署聯合大會と記した大旆を吊し會場周圍には

一、一歩も讓るな祖國のために

一、一瀉で走る氣が危いで

一、吼えろ嵐恐れじ吾等よ……

などのスローガンを揭げ氣勢を示し（寫眞は長春座の大會）

公主嶺　森下清一

一、滿洲の嵐　同　出東敏

一、所感　遼陽　香田清八

一、正義の爲に　公主嶺　鴨田登

一、此の叫ひを聽け　新京　下田傳

一、所感　新京　加藤爲一

紛糾の責を負ひ 八田 森重 兩課長辭表提出

（東京國通至急報）拓務省の八田警務、森重企劃兩課長は今回の在滿機構改革問題紛糾の責を負つて十五日午後二時坪上次官に辭表を提出した

各署代表 意見を發表

各署代表の意見書發表に移るや拍手裡に奉天署釘町秀次郎起つて『信念に生く』と題し熱辯を振ひ續いて左の諸氏がそれぞれ五分間に亘つて熱辯をなした

一、信念に生く　奉天　釘町秀次郎

一、所感　出張所　谷川保定

一、機構問題と奧地警察官　通遼　津田勳

一、所感　新京　卜部義男

一、正義の劍を拔け　鞍山　福井米吉

一、愆れる國策を覆せ　新京　岡野清

一、敢て國家の捨石たれ　范家屯　小林武夫

一、強き信念の下に邁進せよ　新京　池田

一、未定　四平街　大久保大吉

一、矢は已に放れたり　新京　井田宗譯

一、所感　旅順　池田耕作

一、軍は遂に民衆に訂諺するか　新京　三橋康豐

一、信を訴ふ　奉天　今岡莊

一、所謂改革案の矛盾性に就て　新京　堀內幸治

一、新感　營口　濱田力造

一、決意　奉天　增田次郎

一、向ふ意氣　撫順　後藤灘郎

一、最後の決意　新京　樽井勇藏

一、突擊　公主嶺　串崎惟一

一、所感　大連　江口信雄

一、所感　安東　藏木武雄

一、感擊餘里

東亞の平和を確保し皇道を世界に顯揚すべき天業の恢興將に成らんとし玆に武人秉政の端を發し憲政の常道を逸脫し國策の大本を愆らんとす、吾等五千の盟友は颯然起ちて國家百年の大計を憂ひ文治行政確立を絕叫するや吾人の主義主張に對し今佰武主文從を以て現地の事情に適合せるを最良案なりとし閣議決定に籍口し敢て之を行はんとす、何たる謬見ぞ、苟も國策の遂行に當りては些も權謀術策を容るるを許さざるに今次の在滿機構問題の閣議に上程するに當りては其正道を果して踏みたりや否や甚だ疑はしきものあり、武人の政治に干與すべからざるは國家根本義にして今玆に贅言を要せず、單に國際的危殆に際し一國の情勢推移に伴ふ必然の趨勢なりと異說すると雖も之を以て直に武人秉政の不可避なりと斷ずるを得ず、夫れ軍人本來の使命存す軍人に賜りたる勅諭に曰はく、天子は文武の大權を掌握するの義を存し中世以降の如き失態なからん事を望むと恐惶の極なり、蓋し書史を繙かば武家政治七百年の弊を知る文武確立の精神は萬古不易の鐵則に非ずや然るに何を求めてか在滿文官警察に代るに軍事警察を以てせんとするや吾人は形式的一元化による文武の混肴は軈て現るべき精神的分裂なるを思ひ最大の憂慮を拂ふものなり、文治警察は警察官に軍事警察は憲兵にと主張する所以又玆に在り蓋し人には各々習性あり其習に從ひ社會妥當性に適合してこそ國是は定まり和協の實を擧ぐるを得ん吾人は三十有餘年の文治警察の經驗を有す警察官中に例へ小數と雖も憲兵を容るること既に軍警警察の混同に非ずして何ぞや、現地に最も適したる吾人の主動に最も適せざる憲兵を以てし倘憲兵制を實施するものに非ずと糊塗し吾人の主張を感情的誤謬に基くものとし凡有手段を以て語伏鎭壓せんとするも斯の如き矛盾膦着に對しては假令千萬言を費すとも斷じて節を曲げず吾人五千の決意と結束は磐石の如し、現下關東廳警察官の在滿機構反對は不純分子の介入するが如き反間苦肉の宣傳をなすと雖も單に笑止に堪へざるのみ、吾人の主義主張は只誠心誠意盡忠報國の逆りにして頑迷遂に度し難くして身は滿蒙の捨石となるも何等悔ゆる者に非ず、此正義の絕叫にして天聽容れられざることなきを信じ文治行政確立の期成に益々結束を堅め一路邁進を誓ひ敢て之を

決議

行政の大義は文武各々其の職分に恪循するの制たらざるべからず現下滿洲の情勢に鑑み其の要誠に緊切なるものあり治安の維持民衆の保護誘掖は武斷政治に非ずして妙味ある文治行政的に存す殊に警察行政の首腦たる警務部長に憲兵隊司令官を兼任せしめ獨警察の憲兵化に非ずと謂ふは堅白異同の辯なり名を在滿警察機關の統制に籍りて文治の分野を侵すが如きは斷じて承服し能はざるところなり吾人は國憲の大本に則り飽く迄憲兵隊司令官の兼任其れ自體を排擊すると共に一致團結文治行政の確立を期す

關東廳下警察署聯合大會

巡査代表 けふ首相に陳情

先發巡査代表十六名は十五日午後四時關東廳東京出張所山本警部につれられて岡田首相を訪問、その際拓務省からは坪上、田中兩次官その他百五十余名が列席して代表の意見を聽取、會見後田中次官は代表に對し現在の狀態に至らしめたことは自分等の努力が足らなかつた結果であると陳謝の辭をのべるところがあつた

通信事業の現狀維持確保

遞信局靜觀を破る

機構問題に對し靜觀的態度を續けて來た大連遞信局では最近東京から歸任した局課長から詳細なる中央情勢の報告を受けた結果、事態は樂觀を許さざるものなるを知り俄然從來の靜觀態度を捨て積極的に通信事業の現狀維持確保に向つて邁進することとなつた而して今日まで遞信關係に限り新機構は現狀維持を持續すると傳へられてゐるため全く靜觀的態度を續けて來た新京郵便局においてもこれに刺戟され十四日は日曜日にも拘らず高橋局長以下幹部一同午前十時から局長室に集合、鳩首凝議の結果左の如き申合せをなし午後六時散會した

一、通信事業を經濟的に、確實に且つ敏速に經營するためには現關東廳通信事業を絕對に州內外に分割せざること

二、電信電話事業の監督はその本質、並に郵便事業との緊密なる關係及び廳舍共用等の關係上絕對に遞信局の所管とする必要があること

三、電氣事業の監督はその電線路と通信線路との關係及び技術上の關係により電信電話事業の監督官廳たる遞信局の所管として存置すること

四、航空事業に對しても亦航空郵便關係により郵便事業所管廳たる遞信局において引續き監督するの要あること

等により遞信省官制に關する限り絕對に現狀維持を必要とするといふにある、更に中央における情勢は恐らく前記第二項監督權がの遞信局の所管から削除されるものか又は遞信部內に他の勢力が侵潤し通信事業に對する公衆の不安を生ぜしむるなどの憂慮すべき事態に立ち至つたものとの結論に達したものらしく十五日某問題のため來京した藤井大連遞信局長から情勢の推移に關し說明を求め對策の如何を糺明した上で今後の態度を決定することとなつた

改革實施の人事詮衡方針

異動の範圍は極めて少數 三長官の意向內定

【東京國通】林陸相は在滿機關改革實施に伴ふ人事の詮衡と關聯して十二月の定期異動方針に就き閑院參謀總長宮殿下並びに眞崎敎育總監二長官と過般來協議して居た結果次の如く內定した

一、在滿機關改革實施に伴ひ各陸軍側から詮衡する人員はその大部分は兼任となる爲少數で足りる

一、十二月初旬行はれる定期異動は必要上已むを得ぬ者の他は三月の定期異動に延期する

從つて異動の範圍は極めて少なく將官級の少數に內定した

既定方針の實行を要望

塚田第一課長軍の意向傳達

【東京國通】關東軍司令部第一課長塚田大佐は十五日午前九時東京驛着入京した直に陸相官邸に於て林陸相、橋本次官、永田軍務局長、山田參謀本部總務部長、磯谷同第二部長、大城戶滿蒙班長、平井主計等關係當局と會見、在滿機構改革に關する現地關東廳警察官の強硬なる反對運動の動向に就て詳細報告し關東軍としては直接關與すべき問題でないため靜觀の態度を持してゐるが滿洲の實情から國策を遂行するためには既定方針通り改革案を速かに實施すべきであつて之に依つて憂慮される如き事態の發生に對しては關東軍としては之を排除すべきであつて之に依つて憂慮される如き事態の發生に對しては充分の處置を考究してゐる、從つて政府は速かに既定方針實施に關する決意を示されたいと關東軍の意見を開陳した

渉房店附近に匪賊

【ハルビン國通】肇州縣軍警は去る十一日午前十時頃渉房店附近で東北民衆自衛第一軍の赤旗をおし立てたる優勢なる匪賊と遭遇、激戰數時間の後、これを四散せしめたがこの戰鬪に於て敵匪の損害は戰死三十五名、捕虜三名、負傷三十四名、馬匹三十五頭を獲得し、更に人質十名を奪還した、軍警側の損害は戰死二名負傷四名である

來る十九日 北鐵列車一部變更

北鐵南部線では來る十九日午前九時五十分新京發ハルビン行列車は都合により十一時發に變更される

しあとる丸幹部 挨拶に來社

大阪商船しあとる丸船長三上長一、同事務長小原儀政の兩氏は大連碇泊を機に十五日來京、本社を訪問した

偶語

陸軍の當局談に對抗して、拓務省が聲明書を發表すると敦圉く、岡田兼攝拓相これに肯ぜず、若し首相の諒解を無視してやるなれば、斷然拓務省廢止の強硬手段に出るそうだ▼この際陸軍と拓務が相對立して聲明を繰返へすなどはよりて事態を惡化せしめる心配はあらうが、といつて片方がどうでもこうでも聲明したいといふのならこれを止めるのも何うかと思ふ▼どうせ發表して見れば「あゝこんなものか」位に終るかも知れないし、大事を踏めば踏むほど世間の疑惑が一層高まること必定だ▼この際關東軍少壯將校が靜觀を破つて、國策の大局を誤るものとなし、空氣は漸次緊張への一途を辿りつゝありといふのは、極めて注目されるところだ▼各衛生機關並に警察官各位の必死の努力によつてペストの脅威もどうやら峠を越えたやうである、何よりとお互に喜ばしいことだが、唯だ一名の患者發生のために費された防疫費は相當莫大なものである▼これだけの費用、いやその三分の一でも平素の防疫費にあてがはれてゐたら恐らくこんな騷動をせなくて濟んだであらうとは當局者の述懷だが、お役所の仕事は大抵こんなものだ▼幸ひ今度のペストが原因となつて、首都新京の衛生機關が、面目一新されることにでもなれば、今度の騷ぎも決して無駄ではなかつたわけで、吾人はこの際思ひ切つた施設の擴充を要望する

本省の招電で 青木警務課長東上

【大連國通】關東廳警務局警務課長青木重臣氏は拓務省よりの招電に依り十五日午前十時出帆のうすりい丸で急遽東上した

天氣豫報 西の風 晴時々曇
氣溫 最高一度 最低零下二度
日出 前六時十四分
日入 後四時五十五分
月出 後一時三十三分
月入 後十一時一分

松井隊長の英斷に匪團相踵いで歸順
武裝のまゝ敦化市中を行進
京圖沿線平和境に

東邊道一帶北鐵東部線各地と共に全滿洲を通じ最も匪害の多かつた京圖線一帶が全くの平和境化した事は去る九月以來一回の

『匪害』も發生しなかつた事によつて證據だてられる處である、之れが直接原因たる同地方の大頭目四海の歸順式は去る十二日敦化第〇〇隊に於て行はれて以來引續き十三日には四海直屬部隊四百名、十四日には四海の部下頭目たる靠天、飛雲龍等の一部隊七百名の歸順式が盛大に行はれた、今回の歸順はその斡旋者たる滿蒙獨立禁衛軍總統黑龍王を信頼する松井敦化〇〇隊長の大英斷により特に武裝解除を行はず、連日に亙つて行はるゝ歸順式に臨むべく下山し來つた匪賊隊は何れも特に仕立てられた臨時列車に搭乘して敦化に出で、武裝のまゝ堂々隊伍を組んで市中を行進し、第〇〇隊の營庭に入り松井隊長以下在營將校全員の出迎へを受け、部隊毎に茶菓または食事の饗應などを受けた、恐らくこれは匪團として空前とも言ふべき面目を施したもので感激裡に松井隊長等の日本軍隊及び黑龍王總統等の滿蒙獨立禁衛軍幹部に對し

『絕對』の信頼を捧げ、永久の忠誠を致すべきを誓つたのは當然で、其の上彼等は再び武裝のまゝ一應歸山を許されたのである、此の匪軍各部隊の歸順式に際し、武士道的精神に立脚して彼等を遇し傷病者に對しては隊附の軍醫官をして診療に當らしめ或は慈父の如き態度を以て刻下の大勢を說き、人類愛を說いて訓話を與へた松井隊長の溫情には、何れも感激その極に達し全員擧つて松井隊長並に黑龍王に身命を托すべきを約した事は實に滿洲事變以來の歸順工作上前代未聞のことだつた敦化市民三千餘名は最近迄その名を聞いてさへ戰慄をとどめ得なかつた匪賊の大小頭目が日毎に來敦し、市中を行進する實情を目のあたり見てその平和的現象に驚喜し、沿道一帶は見物人の黑山を築き十二日より十四日迄三日間に亙りお祭り騷ぎを呈した程である、尙今回の歸順工作の成功により爾餘の頭目青山九江等も黑龍王に歸順取做しを申し出で更に太平德林等も大勢に

『順應』し部隊を纏めて歸順するに至るべく吉林省全體に亙り一部の共匪を除く集團的匪賊の影を沒する事は當に時日の問題のみとなつた事は喜ぶべき事である

先生方も生徒と同じ カーキ色制服
滿鐵各中等學校一律

滿鐵關係中等學校生徒の制服は一率にカーキ色の詰襟と改正されたことは既報の通りで新京商業學校には既に七十一着到着して三十餘名は講求してゐる、本年中は一年生、二年生の順序に三年生位まで改正して四年、五年は卒業まで間がないので隨意とされてゐる、生徒の制服の改正と同時に商業、中學校の教職員にも制服を定め生徒の制服と同色のカーキ色背廣と規定され新京商業學校では赤塚校長事務取扱を始め田所、秋庭の諸教諭は既に新設制服を注文した

滿洲國皇帝 奉天、吉林へ行幸
昨日宮內府布告で發表

滿洲國皇帝陛下の地方行幸に關し十五日午後三時沈宮內府大臣は宮內府布告をもつて左の如く發表した

宮內府布告

皇帝陛下來る十月十九日御發輦奉天へ行幸二十日還幸更に十月廿四日吉林へ行幸即日還幸の旨仰出されたり

宮內府大臣 沈瑞麟

滿洲國軍の狀況に就て

軍政部最高顧問 板垣征四郎

私は本年八月以來多田少將の後を承けて滿洲國軍政部最高顧問の職にあります、私は元來事變前より建國初期に亙り關東軍の幕僚として滿洲國關係の業務に携つて居りましたが最近再び滿洲國に參りまして先づ何よりもうれしく感じたのは、滿洲國が驚くべき發達を遂げた事であります、中にも豫想外だつたのは滿洲國軍政の整頓であります

□

舊來の支那軍隊は凡そ文明軍隊と緣遠い存在でありまして私共は此の軍隊が二年位でこんな姿を變へやうとは全く考へもしなかつたのであります殊に私兵とでも申すべきか、各々地盤に割據して權力をほしいまゝにし、上下私收に勾結した軍隊が國家の軍隊として全國的統制を見たことは眞に驚くべき事であります、支那に於ては古來幾人かゞこれを企求して遂に成し遂げ得なかつたのでありますが滿洲國に於ては僅かに二ケ年余にしてこれが成し遂げられたのであります、茲に此事業に關係した人々の功績を想はしめられるものがあります、不朽の事業と申すも過言ではありますまい

□

一体國家の武力と申すものは誰が何と申しましても一國の統治權が確立する原動力とも申すべきもので、滿洲國に於ても此の武力をしつかり握つて置かないと、統治の根幹に動搖を及ぼす事になります、現に建國初期には、建國精神に理解を缺いた軍隊の妄動により滿洲國の統治に多大の支障を受けたのであります然るに今日では滿洲國の軍隊は國家の統治權に絕對忠順なる軍隊となつて居ります

□

回顧しまするに、滿洲國成立の當初、各省毎に警備軍を編成しましたが、其の主力は舊政權以來の軍隊を受け繼ぎ、一部は不正規軍を改編したり又は急募編したものでありました、之等軍隊の素質が不良である事は勿論でありますが、困々つたのは動もすれば國權に服せざる者のありました事と、私兵的狀態を脫却せずして中央統制が困難を極めた事であります、國權には服する事となつてもこの中央統制は一寸厄介で、奉天軍とか吉林軍とかいふものは夫々殆んど別個の存在で、討伐に當り一方の警備軍から他方の警備軍に兵力の轉用をしやうとしても、とても出來るものではなかつたのであります、それに軍費を私し、人民から搾取する事も日常茶飯事でありました、ところが今日では旅長團長の人事異動も中央の命令のまゝにやれますし、作戰上の軍隊區分兵力轉用など電報一本で解決します、又豫算決算も行へる軍隊になりました、斯う申しましても日本內地の人々にはピンと響かぬかも知れませぬが、旅長團長の更迭など下手にやつたら軍隊の崩壞を來すとさへ初めは考へられて居たのであります、又豫算決算なんて事は全く夢の樣な事で所謂請負賄で「本月は奉天軍五十萬圓、吉林軍七十萬圓」といふ樣に月毎に軍費を分配し、足りても余つても其の範圍で一切合財を賄はさすといふ遣り方で、最初は出發したのでありまして豫算の決算の、會計檢査のといふ樣な事がトテモトテモ急には出來るまいと考へられたのであります、今日滿洲國の兵卒はキチンキチンと俸給を受取つて居ります、討伐に出ても宿舍料をチヤンと拂つて居ります、全く以て長足なる改善進步であります、殊に本年三月帝制が布かれて以來、軍心の刷新に一段と拍車がかけられ、七月には全軍の編成が根本的に改正せられ全國的統一さへ成りました

□

一昨日より昨日にかけて行はれた今次の大演習に就て見ても、昨日行はれた觀兵式に就て見ても昔日の有樣とは全く見違へる樣であります、かゝる有樣を見るにつけ滿洲國の國基の爲に頗る固き事を痛感するものでありまして、現時吉林省の大部、奉天省の東半部が未だ紛亂を續けて居りますもの、殘匪の肅淸亦遠からざることと信じます

而して今日の軍政整頓を見るにつけ隱れたる人柱の貴き犧牲に無限の謝意を捧げるもので、今日迄滿洲國軍の上下にも多くの犧牲者が生じて居ります、又建國の理想に燃え滿洲軍に飛び込んだ日本軍人にも尠からざる犧牲を生じて居ります

□

尙關東軍司令部たる現役將校にして顧問として滿洲國軍內に居る者の中にも相當の犧牲がありました、殊に日系軍官中には虎林の三勇士と謳はれたる日下、坂田、坂口の壯烈無比なる行動と其戰死重傷とは世に紹介される事少かりし丈けに一入感深く、又現役顧問の中では自ら滿洲國の騎兵旅團を提げ北滿の花「大川支隊」の勇名を轟かしつゝ轉戰數次春秋に富む中尉の若さで已に楡樹鎭に於て壯烈なる戰死を遂げたる大川大尉の偉大なる功績を想ひ起さゞるを得ないのであります、大尉の指揮せる騎兵團は大尉を襲ふた二千の騎馬匪團を歸順せしめ改編せるもので當時步兵中尉であつた彼は三聯隊制の騎兵支隊に之を編成し自ら之を指揮したのであります

□

斯かるエピソード的の話をし出せば盡くる所を知らざる有樣であります、之を要するに滿洲國軍は着々整頓しつゝあります、私はまだ着任日淺いのでありますけれど、この良好なる整頓狀況を一層促進し速かに滿洲國內の絕對靜謐を圖り國家保安を完全にし協同防衛に事缺かざるに至らしめ度いと存ずるものであります

商業校行事
實業教育制度五十周年記念

既報、實業教育制度實施後本年は恰度五十周年に相當するので全國一齊に記念事業が催される、新京商業學校では來る二十日から二十六日まで左の通り色々の記念行事を行ふ▲二十日記念式擧行、式後商工會議所會頭石崎廣次郎氏の講演▲二十二日滿洲國度量衡講演▲二十五日ポスター展覽會▲二十六日珠算大會、ポスター展覽會には生徒の作品その他一般から募るが保津教諭は一般ポスターの蒐集に出張中なほ記念事業の一つとして同校內に商業研究部を創設するが各係りで既に準備中

東商業前校長 新京學務方面擔任

新京商業學校前校長東一郎氏は本社に榮轉後地方部に勤務中であるが今度新に新設される地方部業務改善班の學務方面の擔任となつた

丸腰の移民 二百五十名來滿

北滿の沃野克音河を永住の地と定めて入殖することになつた第三次滿洲特別農業移民團三百名は曩に先發隊五十名を送り今回殘り二百五十名が十六日敦賀發天草丸で故國を離れ十八日淸津着京圖線拉賓線經由で廿日目的地に到着することゝなつた、同移民團は第一次永豐鎭、第二次七虎力兩移民團と異なりその名稱の示す通り丸腰の非武裝移民で指導員も專門の農業技師を置き土着農民と精神的融合を行ひ農業開發に專念せんとするもので、入殖後は直ちに冬營の準備に着手し冬籠り中移民としての教育及び滿洲語の練習を行ひ、來春早々耕地開拓に着手する豫定である

体聯馬術部の郊外遠乘會

新京体育聯盟馬術部では十四日特別大演習參觀を兼ね南嶺に遠乘會を行つたが、來る十七日更に軍司令部と合同して新京郊外に遠乘會を催す

石田茂一氏 義金を本社寄託

新京住吉町一丁目石田茂一氏は近畿風水害地義捐金として金五圓を本社に寄託したので主催者現金取扱所地方事務所庶務係へ轉送した

司法部法學校 昨日開校式

司法部法學校の開校式は十五日午後二時から司法部講堂で擧行された來賓として鄭國務總理並に遠藤總務廳長の代理竹澤關東軍法務部長、李最高法院長、西山文教部次長など十餘名列席前野學監開會の挨拶をなし、古田校長の開校の辭、馮司法部大臣訓示、李最高法院長、竹澤法務部長、西山文教部次長の祝辭、林學生代表の答辭、前野學監の閉會の辭があつて三時式を閉ぢ一同司法部前で記念撮影をして散會した（寫眞は開校式）

滿鐵精神作興週間
新京聯合會諸行事
十五日から廿一日迄

滿鐵社員會では滿洲國の新狀勢に鑑み滿鐵特殊使命の再認識と社員各自の自覺更新を目的として來る十五日から二十一日まで精神作興週間を擧行するが、新京聯合會でも同週間を通して左の如き行事を催すこととなつた

▲宣誓式及精神作興講演會 十五日午後七時より新京女學校講堂に於て 式次―敬禮、開會辭、君ケ代合唱、國旗社旗に對し敬禮、宣誓文朗讀、式辭 講演會、滿鐵の歌合唱 講演者各二名、鐵道部、商事部、地方部、經濟調查會及消費組合各一名計六名の豫定、講演希望者は西廣場小學校瀨川宛申込みを乞ふ（講演內容は作興週間の趣旨に合するものなること、一人十分間以內とす）

▲各個所朝會 十五日朝各個所にて朝會を行ひ週間の趣旨並に行事に出席方徹底

▲早起神社參拜日 十六日午前七時神社に集合、神社參拜、殉職社員に感謝默禱

殉職社員家庭、病症社員家庭、前線同僚社員、病症社員慰問は社員及家庭各自に於て行ふ

▲座談會 十八日、十九日評議員を中心とするもの―驛貴賓室にて午後七時より各個所別に行ふもの―座談の中心題目は精神作興、業務研究、公私生活改善に關するもの等

▲戶外健康日 十七日（神嘗祭）午前十時驛前に集合、社員及社員家族の寬城子遠足を行ふ 荒天又は雨天の場合には讀書日となす

▲整理整頓日 二十日 公私生活に關し備品、器具、簿冊、什器等整理整頓勵行

▲報告式 二十一日午 九時 西公園忠魂碑前に集合 式次―集合、君ケ代、國旗及社旗揭揚 皇居遙拜、忠魂碑拜禮 ラジオ体操、報告辭、萬歲三唱、國旗及社旗降納 閉會の辭

第三回煖房器具展覽會
愈よけふから南廣場で

西公園入り けふから無料
來春からまた徵收

何だかだと議論百出の裡に兎もかく今年試驗的に實施された西公園の入園料徵收もいよいよ豫定通り十月十五日を以て締切られたけふからは大びらに入場料なしで入園出來るわけである、今年は中途から實施したのでその入園料總高四千圓見當だが、實施後の成績は豫想以上によかつたので來年も解氷期に入つて實施されること勿論である、これらの收入金は主として公園の施設費に當てられることになつてゐる

滿鐵雇員試驗 昨日商業校で

滿鐵地方事務所では在京傭員社員のため、雇員登格試驗を十五日商業學校內で擧行したが受驗者は七十六名であつた

ハルビン近來の強風

【ハルビン國通】十四日朝來風速十四米六十と云ふ最近にない强風が哈市一帶を襲ひ松花江上に繫がれた帆船曳船十數隻顚覆沈沒し目下引揚作業中だが人畜には被害はなかつた、損害目下取調中

ハルビンの初雪

【ハルビン國通】ハルビン附近の紅葉した樹木は昨日の强風に散り果て哈市一帶は全く枯野と化し十五日は急に溫度降下し正午頃よりはチラホラ雪が降り出したが昨年より一週間早く初雪を見た譯である

けふ

村地大佐講演會 地方事務所並に在鄕軍人分會共同主催の下に、十六日午後六時三十分から新京高等女學校講堂で海軍協會滿洲支部幹事機關大佐村地正司氏の講演會を開催、一般に公開する

布利秋氏講演會 極東地理學會理事布利秋氏は滿鐵社員會主催の下に、十六日午後六時三十分から白菊町會館で「世界婦人の表裏を語る」と題する講演を行ふ、一般來聽歡迎

浪曲界名人揃ひ出演
讀者慰安の夕
十七、八、九三日間太子堂で

關西風水害義捐興行といふ旗幟で浪曲界に名人の稱ある原雷右衛門、都一蝶、二代目呑風を始めとして女若丸嬢、星月子、都小一蝶、天中軒月露、天光軒湖月等の十餘名の一行は過般來滿各地巡業好評を博しつつあつたが來る十七、八、九の三日間祝町太子堂に於て新京ファンに御目見得する事となつた、一行中には少年浪曲界の橫綱たる當年六才の名人茶目丸あり、浪曲名人大會と銘打つだけあつて人氣百パーセントである、尙我社では一行の來演を機に入場料普通一圓六十錢の處讀者優待として本紙愛讀者に限り半額八十錢の割引を爲す筈で一行の來演期待せられてゐる

（寫眞は雷右衛門）

日滿法曹協會總會へ
大原、沼田氏ら參加

日滿法曹協會第一回總會が來る十一月一日から東京辯護士會館で開催されることになつたので新京法曹界を代表して大原萬千百、沼田勇の兩氏ら出席することになつたが、沼田氏は廿二日午後十時出發の豫定である、なほ同總會では司法省、滿洲國司法部を始め全日本、全滿洲の法曹界代表者が參加し司法制度改善その他に關して協議することになつてゐる

ラヂオ欄

十六日（火曜）新京

午前之部

六、〇〇 ラヂオ體操（滿語）

六、二〇 ラヂオ體操（東京より）

六、四〇 滿語講座 講師 高宮盛逸

七、〇〇 日語講座 講師 近藤喜助（奉天より）

一〇、四〇 經濟市況（東京より）（臨時）

一〇、五九 時報（滿語）

一一、〇一 成人講座（滿語） 民政部總務司文書科 閻毅先

一一、三〇 ニュース（日語）

一一、四〇 ニュース、經濟市況（東京より）

午後之部

〇、〇五 經濟市況（奉天より）

〇、二〇 ニュース（鮮語）

〇、三〇 音樂レコード（日語）

〇、五〇 ニュース（滿語）

一、〇〇 演藝（滿語） 韻春院 雲霞

四、三〇 官廳ニュース、日用品値段（滿語）

四、四〇 ニュース（滿語）

四、五〇 ニュース（英語）

五、〇〇 子供の時間

五、三〇 時事解說（滿語）

五、五五 氣象通報、番組豫告（滿語）

六、〇〇 ニュース（東京より）

六、二五 氣象通報、番組豫告（日語）

六、三〇 講演（大阪より） 第二艦隊司令長官 海軍中將 高橋三吉

七、〇〇 長唄（大阪より） 秋の色種 唄 松永和風 三味線 杵屋佐吉 同 杵屋佐次郎

七、三〇 管絃樂（東京より） ―新交響樂團練習所より中繼―日本放送交響樂團 指揮アウグスト・ユンケル 一、前奏曲、衆讚歌、遁走曲、バッハ作曲、アーベルト編曲 二、歌劇「ローエングリン」前奏曲、ヴアーグナー作曲 三、歌劇「オベロン」序曲 ヴエーバー作曲

八、〇〇 常磐津（東京より） 釣女 淨瑠璃 常磐津三東勢大夫 同 常磐津長尾太夫 同 常磐津勢尾太夫 三味線 常磐津菊丸 上調子 常磐津三之助

八、三〇 時報ニュース（東京より）

八、四五 ニュース（日語）

九、〇〇 演藝（滿語） 蓮香班 鈴花

九、二〇 ニュース（滿語）

法律の裏表
めつきり殖えた訴訟事件

最近法律事件が日に日に激增の傾向を示してきたことは注目すべきである。一體、法律と社會生活とは切り離し得ないもので、金錢の貸借、家屋の貸借、商取引、其他何でも法律で結ばれるので、これら諸般の貸借關係が一朝圓滑を缺くと直ちに表沙汰になるのである。事件になると誰でも慌てゝ辯護士の處へ飛んで行くのであるが辯護だとて必ず訴訟に勝つとは限らない、そして酷い辯護士になると依賴者を喰物にするのである。世間には一寸間違ふと事件を起しさうな貸借關係が何か必ず一つ位はあるものであるから日頃法律を辨へて置いて訴訟の起る前、又訴訟をするにしても各自がテキパキと處理する方が何程安心で賢明だか知れない。

最近、大東社（東京市下谷區西町三番地大東社）にて「法律百科大寶典」と云ふ凡ゆる難問題が解決出來る法律書を發表したが一般素人向には絕好の相談相手ではないかと思ふ、同書は從來の難解な法律書と異り誰にでも判るやうに平易に詳記したもので金錢上より起る諸問題は勿論、民事、刑法、商法、手形法、土地、家屋、相續、戶籍上の問題等を余さず解決すると云ふから普通の事件位だつたら辯護士いらずに解決するに相違ない。因に同書は四百十八頁の大冊であるが法律の民衆化と云ふ意味で僅か一圓と云ふ破格で特賣する由、希望者は前記大東社宛ハガキで申込めば早速送本して吳れて代金は本が着いてから拂へばよいと。

第三回 暖房器具展覽會

十月 16 17 18
會場 南廣場

センターストーブ

最新型

特徵

一、一日一二回ノ給炭デ終日連續燃燒
二、焚付ケガ樂デアリ火廻リガ早イ
三、石炭ガ半分デ足リ而カモ放熱數倍
四、クリンカノ灰等ガ簡單ニトレル
五、溫濕度ノ調節ガ自由自在
六、煙突掃除ノ面倒ガ省ケル
七、體裁優美ニシテ頗ル堅牢
八、優秀品ガコンナニ安イ

代理店 新京三笠町三丁目 仁和洋行 電二五八二(三)四七一番

國神ストーブ

三菱商事特撰斯界の權威

◀連續完全燃燒▶

特約店
日本橋通九〇(電三一六九番) 泰利號
日本橋通五五(電五九五七番) 三和洋行

ワンダーストーブ

冬はワンダー

アルバンストーブ

▼炊事用ストーブの代表品▲

特徵
●燃料不撰
●無煙無臭
●体裁優美
●連續燃燒
●溫濕度の調節
●堅牢簡單

代理店 松茂洋行 新京東二條通三 電二〇四二番

センオーストーブ

驚異的發明塊粉炭の焚ける

純質＝最高の品質が最大の醒價を齎らす事は寧ろ當然に過ぎますセンオーが常にントーブとして最高品質の御認識に他なりません

◀鑄物で日本一 川口製▶

代理店 新京八島通四二 福昌公司新京出張所 電話二六九七番 四八六六番

愃六ストーブ

昭和九年最新型

名實一致
信用第一

代理店 新京東五條通十三 權太商店 電話二二六二 二三九〇番

電氣ストーブ

濟經・衞生・便輕
文化生活は電化から

愈々滿洲の冬が訪れて參りました本年も例に依つて電氣ストーブの販賣を下記の通り開始致しました

(新型各種在庫豐富)

南滿洲電氣株式會社
新京支店

テングストーブ天下一品

煖爐界の最高權威

特許

特徵
胴体一本鑄造
溫度の調節
堅牢優美
焚付簡單
無煙無臭
在庫豐富

代理店 新京朝日通七十一 合名會社 松田清商店 新京支店 電話五二八〇番

福祿ストーブ

世界に誇るこの性能

日、米、英、佛、伊、獨、露、滿、支 各國專賣特許

代理店 新京日本橋通七八 熊平商行 電話二〇一一番

ニットーストーブ

斯界に君臨する世界的ストーブは

特許

事實は有力なる宣傳！飛ぶ樣な賣行は何を語る！
革命的權威驚くべき高熱煖爐

代理店 新京八島通二四 昌和洋行 電話二七六一番

本溪湖ストーブ

此の驚異的作用價値

特徵
燃料經濟
完全燃燒
火力强烈
炊事兼用
體裁優美
構造堅牢
使用簡單
價格低廉

代理店 寶洋行 日本橋通七三 電話三七二二番

國際エヤーストーブ

登錄商標 國際

現代に於てこれ以上完全なストーブがありませうかストーブ展覽會場に於て詳細說明申上ます……!!

代理店 新京日本橋通七六 大信洋行 電話二五二三 三七〇八番

ピースストーブ
ヘルスストーブ

●安心して買へる●
●安心して使へる●

代理店 鳥羽洋行 新京曙町四丁目 電話二三二四番

多木ストーブ

冬季の好伴侶

放熱强烈
燃料節約
調節自在
優美耐久
價格低廉

新京ダイヤ街 伊藤商行出張所 電話二三五四番

村上式ストーブ

ストーブ界最高權威

工事現場 事務室用

代理店 水上洋行 新京中央通 電二八五〇番

ハッピーストーブ

彗星的出現!!
一躍斯界之寵兒!!

堅牢 優美 放熱高度 燃料經濟

代理店 大本商行 新京梅ケ枝町二丁目 電話四八三六番

新京石炭商組合

松茂洋行
裕新公司
泰山行
仁和洋行
新泰洋行
加藤洋行
泰利號
大昌煤局
裕東公司

日本の聖女（上海・上映）

生田葵　畫 郡 龍 平

一三二

時はめぐる（四）

「それでは行つてまゐります。お定との私の留守中何分よろしくお願ひいたします」

お春は身支度を調へると、森村とお定へ言葉を殘して、家を出た。坂山の關所へかゝる大津街道は失張り避け、おきくが來た時の道筋である醍醐から山路へかゝつて山科へぬける遠まはり道をえらんだ。山科のお高の住居へ着いた時は日が暮れた後一刻も經つたころであつた。お高はお春の顔をみると、逢はなかつたのはほんの七日間であるのに、一年も二年も逢はなかつた人を迎へるやうによろこびの眼色を見せた。

「お春殿、私に心ざうの持病があるのはお前様もよう知つて居なさるであらう。時處しばらく起らなかつたのが、昼間の牢舎入りとそれからよみがへり藥を飲んだりしたので又起こりましたのぢや。いつもよりずつといき苦るしい。私は恐らく今度は助からないであらうそれを少しも殘り惜いとは思ひませぬ。御教へをひろめる爲めに、數多くの人がいろいろのいきさつから命をおとしました。吉兵衛殿もその一人、吉兵衛殿の手にかゝつて果てた人もやはり御教への犠牲になつた人だと思ひます。さうしたことを考へると、私が非業の最期を遂げずに病の爲めに死ぬのは、デウスの神様の深いお慈みぢやと思うてをります」

かうしたことを云ふのにさへ、度々いきを休めねばならない程の衰態であつた。

「御師匠様としたことが、平生の貴女様にも似合はないお氣弱さ病氣は心の持ちやう一つ。まだまだ貴女様に死んでいただいてはなりませぬ。馬場町の非人達は貴女様のお出を待つてゐるのでござります。どうぞ氣をつよくもつて[illegible]つて下さりませ」

お春は一生懸命にお高の心地を引き立てやうとした。その言葉に對して高は抗言しやうとはせず、ほゝゑみを見せて、うなづきはしたが、もうすつかりとあきらめて覺悟をきめてゐるらしく見られた。マリヤの畫像の容貌にようにた神々しい温容が面にあらはれ、手を胸のあたりで組んで、呼吸が少しでも鎮まると、マリヤの御名をしやうして居た。

おきくが云つたやうに、見たところそんなに病氣が手重いとも思はれぬに、何うしてかうもさびしい心地になつてゐられるのであらうと、お春は思ひもした。第一の氣がゝりは近所によい醫師はなく又お高自身が醫者をよんで診察を受けるのをこばむことであつた。

「今夜は間に合はぬ。明朝は何としても何處から醫師を呼ぶやうにしやう」

さう思つてお春は夜もすがら介抱した。すると夜明け頃になつてお高の容態が變つて來た。

その時お春は張り切つた心地で病しやうに附そひながら此間中からのひらうの爲め、ついうとうとと居眠りしたのであつたが、

「お春殿」

微ではあつたがお高が呼んだ聲でハッと眼を開くと、お高は[illegible]を云はず手を口の端たへもつていつて[illegible]をとんと叩くのであつた。水を求めるのであらうと、急いで枕頭の水をのますと、一口が[illegible]けるやうになり。

「お春殿おさらばぢや、森村殿がによろしく、天國からマリヤ様がお召しになる、私はもういきます御教の爲に此後とも働いて下され」きれぎれに云つたのであつたが云ひ終ると目をとぢた、お高自身で[illegible]の上を[illegible]して[illegible]た、ゴロ[illegible]ロとのどが[illegible]つたと思ふともう[illegible]